

令和7年度 多良見西語らん場



令和7年6月20日(金)、多良見多目的研修館にて開催いたしました。
昨年度の語らん場をきっかけに住民の方が取り組んだ「地域住民(特に高齢者)のための移動販売誘致」について住民の方から話をしてもらい、自地域のために何ができるのかということ地域のみなさんで確認できました。
また、今回は地域に若い世代の方をどう巻き込むか・若い世代に地域活動等について知ってもらうためには何ができるのかということ皆さんで考え、情報共有や今後の取り組みについて確認する機会となりました。

まずは、昨年度の語らん場から創出された社会資源(移動販売)について報告…



地域住民(高齢者)が買い物困難になっているため、移動販売誘致に取り組んだ。誘致後には、高齢者だけではなく、小学生の親子など若い世代の方の利用も見られる。そのようなところも地域づくりに活かしながら、今後も移動販売が継続できるようにしたい!!

高齢の方向けに創出した社会資源(移動販売)に若い世代の方も足を運び、交流の機会になっている。これを地域づくりに活用できるのではない!!

前回の語らん場で「若い世代との交流」についての意見があったので、
今回は「若い世代との交流」について住民のみなさんで意見交換しました!!

若い世代の方との関係づくりのためには、地域活動の情報を知ってもらうことも大事!

◎みなさんの意見紹介◎

- ・若い世代の方に地域のことを知ってもらうためには周知の仕方に工夫が必要。
- ・移動販売時に住民同士のコミュニケーションが取れるような雰囲気作りも大事。
- ・待つのではなく、自分から行く姿勢も必要なのではないか。
- ・世代関係なく一緒に一つのことに取り組むことで「仲間意識」が芽生える。



地域や住民の方で出来ることを確認しました。

昨年度の語らん場をきっかけに住民の方が自地域のためにできることを考え、地域の社会資源(移動販売)の創出に繋がりました。語らん場での情報共有・意見交換は、住民の方が地域づくりのために一歩動きだすきっかけづくりになるのではないのでしょうか。
今後も住民のみなさんが地域のために「考える」「動く」ということを大事にして、住民の方の地域づくりをお手伝い出来るよう生活支援コーディネーターも支援・サポートをしていきます!